

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	60	
部局名	市民部	所属名
事務事業名	00841 スポーツ推進委員設置事業	所属長
		記入者

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法、天津市スポーツ推進委員に関する規則 大津市スポーツ推進計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	01	生涯スポーツの普及・振興		
重事	01	生涯スポーツの推進	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	スポーツ推進委員設置費	

事業の概要
 スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整、並びに住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う「大津市スポーツ推進委員」を委嘱している。地域でのスポーツ指導やスポーツイベントの中心的な存在（コーディネーター）として活動するため、研修会などを開催し委員の資質向上を図っている。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	地域における生涯スポーツ振興のために
対象 (何又は誰を)	社会体育関係者（スポーツ推進委員等）を対象として
手段 (どのようなやり方で)	各種研修会への派遣や社会体育指導者研修会、毎月1回の定例会を開催し
成果 (どのような状態にするのか)	社会体育関係者の資質を向上し、住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うためスポーツコーディネーターを養成する。

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,261	4,262	4,027	4,205	4,205	
人件費 B		2,997	3,034	2,050	2,050	2,050	
事業費合計 A+B		7,258	7,296	6,077	6,255	6,255	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,258	7,296	6,077	6,255	6,255	
職員数(人)		0.37	0.37	0.25	0.25	0.25	
職員数の内訳	正規	0.37	0.37	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	スポーツ推進委員及びスポーツ指導員の数	人	目標	182	46	46	46	46	
				実績	44	44	42	-	-	
		定数 スポーツ推進委員46人								
成果指標	1	社会体育指導者研修会の開催	回	目標	2	2	2	2	2	
				実績	2	2	2	-	-	
			社会体育関係者の資質向上を図るため、年2回以上開催							
	2	社会体育指導者研修会への参加率	%	目標	90	90	90	90	90	
実績				72.73	65.91	64.2	-	-		
		参加者/スポーツ推進委員								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	近年、スポーツ推進委員の役割は、スポーツ技術の指導その他スポーツに関する指導及び助言のみならず、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整として、重要性が増してきている。	
これまでの見直しや改善等の経過	スポーツ推進委員の構成については、総合型地域スポーツクラブ、大学、障害者スポーツ団体からの推薦に加え、一般公募からも参画いただいている。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	スポーツ推進委員は、スポーツ基本法の規定により、市が委嘱している。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	障害者スポーツなどの研修を実施することで、スポーツ推進委員の資質向上を図っている。また、各地域でのスポーツイベントの企画運営や地域へ出張型体力測定を行うなど地域のスポーツコーディネーターの役割を担っている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	「地域いきいき健康マップ」の作成や各種事業の運営、地域へのスポーツ啓発活動に寄与している。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	地域・大学・行政とのパイプ役だけでなく、体力測定会などの自主事業の展開により、本市における生涯スポーツの普及・推進に大きく貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>スポーツ推進委員は、地域におけるスポーツ技術の指導や助言のみならず、地域のスポーツ活動推進のコーディネーターの役割を担っている。今後より一層地域における生涯スポーツを推進するため、スポーツ推進委員の資質向上のための指導者研修会開催や市民が体を動かすきっかけ作りに繋がる自主事業を拡充できるよう支援していく。</p> <p>公的な社会体育指導者であるスポーツ推進委員は、市民が生涯スポーツ活動を実践するうえで、実技指導や助言を行うなど非常に重要な役割を担っていることから、推進委員の資質向上のための指導者研修会の開催など人材育成に取り組むこと。また出張型の体力測定会やウォーキングマップの作成などスポーツ推進委員会の独自事業も進めていくこと。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	80.81 %	73.23 %	71.33 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	-9.37 %	-2.59 %
活動単位コスト	指標1	164 千円	165 千円	144 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	3,629 千円	3,648 千円	3,038 千円
	指標2	99 千円	110 千円	94 千円
コスト増減率		- %	+5.72 %	-15.59 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	61				
部 局 名	市民部	所 属 名	市民スポーツ・国スポ・障スポ	所 属 長	内田 一成
事務事業名	01909 まちづくり健歩運動推進事業	記 入 者	金本 正彦		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	01	生涯スポーツの普及・振興		
重事	01	生涯スポーツの推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	まちづくり健歩運動推進事業費	
事業の概要	ウォーキングコースの紹介やウォーキングを活用したイベントの開催などを通じて、市民の健康増進や体力づくりのきっかけを提供し、市民の運動・スポーツ実施率の向上を図る。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	手軽に取り組めるウォーキングを推進するため
対象 (何又は誰を)	大津市に住み、働き、学び、訪れる人に対して
手段 (どのようなやり方で)	ウォーキングイベントを開催することで
成果 (どのような状態にするのか)	市民（成人）の週1回以上のウォーキングを含む運動・スポーツ実施率を65%に引き上げる。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,500	1,000	1,000	250	250	
人件費 B		972	164	164	164	164	
事業費合計 A+B		2,472	1,164	1,164	414	414	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,472	1,164	1,164	414	414	
職員数(人)		0.12	0.02	0.02	0.02	0.02	
職員数の内訳	正規	0.12	0.02	0.02	0.02	0.02	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	ウォーキングイベントの開催	回数	目標	50	11	11	1	1
				実績	10	11	11	-	-
	ウォーキングイベントの開催回数								
	2	ウォーキング参加者数	人	目標	720	720	1,000	1,000	1,000
実績				479	1,529	1,306	-	-	
ウォーキングの参加者数									
成果指標	1	運動・スポーツ実施率	パーセント	目標	65	65	65	65	65
				実績	46.6	48.1	46.7	-	-
	市民（成人）の週1回以上のウォーキングを含む運動・スポーツ実施率								
	2				目標				
実績									

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	62	
部 局 名	市民部	所 属 名
事務事業名	00846 国体・オリンピックチャレンジ事業	所 属 長
		記 入 者

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する 個別計画	大津市スポーツ推進計画
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	01	子どもの運動・スポーツの推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	国体・オリンピックチャレンジ事業費	

事業の概要
 令和6年（2024年）の滋賀国スポ・障スポの開催に向け、トップアスリートによる競技教室などを開催することにより、さまざまな運動に触れる機会を増やし、子どもたちの体力向上を図るとともに、競技スポーツの魅力を伝えながら子どもが楽しく体を動かす機会づくりを進める。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（ ）

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	子どもたちの運動に触れる機会を増やすために
対象 (何又は誰を)	市内の小学生を対象に
手段 (どのようなやり方で)	トップアスリートによる各種スポーツ教室を開催し、競技スポーツの魅力を伝えることにより
成果 (どのような状態にするのか)	子どもたちの運動能力向上を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,078	1,500	1,000	500	500	
人件費 B		972	328	328	328	328	
事業費合計 A+B		3,050	1,828	1,328	828	828	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,050	1,828	1,328	828	828	
職員数(人)		0.12	0.04	0.04	0.04	0.04	
職員数 の内訳	正規	0.12	0.04	0.04	0.04	0.04	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	開催教室数	教室	目標	3	3	3	1	1
				実績	3	3	2	-	-
	事業(種目)数			目標					
				実績					
成果指標	1	参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000	300	300
				実績	740	346	379	-	-
	参加者数合計			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	2020年東京オリ・パラ、2024年には2巡目滋賀国スポ・障スポの開催が予定されており、市民のスポーツに対する機運はますます高くなっている。		
これまでの見直しや改善等の経過	直営で行っていた「アスリートチャレンジ事業」を平成27年度より「国体・オリンピックチャレンジ事業」へと名称変更を行うと同時に、委託事業でのスポーツ教室を開催。今年度は複数の団体に業務委託し実施した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	本市が、滋賀国スポ・障スポや東京オリ・パラへの機運を高めるため、トップアスリート教室を開催することにより、子どもの運動・スポーツの推進に寄与している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	子ども達が楽しく体を動かす機会づくりに寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	各種スポーツ教室の計画や運営等の実績のある事業者に委託して実施する事は効率的である。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	子ども達へ競技スポーツの魅力を伝えながら、楽しく体を動かす機会を提供している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	大会開催種目の啓発・普及に努め、子ども達にスポーツへの参加意欲の向上や競技スポーツの魅力を伝えていく。大津市で開催される国スポ種目を重点的に実施するなど、事業内容について検討を行う。また、受託事業者への指導及び連携を密にすることで、事業の進捗管理を徹底し、周知・啓発方法の改善を図り、効率的な事業を行っていく。
部局長コメント	当事業の実施により、更なる大会開催種目の啓発・普及に努め、2020年開催予定の東京オリ・パラ、2024年開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に対する機運を高めていく。今後も、子どもたちに競技スポーツの魅力を伝えるとともに、スポーツへの参加意欲の向上を目指していくこと。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	74.00 %	34.60 %	37.90 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-53.24 %	+9.53 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,016 千円	609 千円	664 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	4 千円	5 千円	3 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+28.18 %	-33.67 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	63				
部局名	市民部	所属名	市民スポーツ・国スポ・障スポ	所属長	内田 一成
事務事業名	00837	体育団体等活動助成事業	記入者	金本 正彦	

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	体育団体等活動助成金	

事業の概要
生涯にわたり健康で活力ある生活を維持するため、生活にスポーツやレクリエーション活動を取り入れるよう、各種体育団体の活動を支援することにより、生涯スポーツの振興を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	各種体育団体によるスポーツ事業が活発に展開されるよう
対象 (何又は誰を)	各種体育団体（1. 市内36学区体育団体 2. 大津市体育協会 3. 大津市スポーツ少年団 4. 大津市レクリエーション協会 5. 大津市学区体育団体連絡協議会）を対象として
手段 (どのようなやり方で)	運営補助金、事業補助金を交付し、
成果 (どのような状態にするのか)	各種スポーツの振興及び生涯スポーツやレクリエーション事業の普及を通じて健康の保持増進を図る。

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		14,034	12,722	13,438	12,405	12,405	
人件費 B		2,025	2,050	2,050	1,886	1,886	
事業費合計 A+B		16,059	14,772	15,488	14,291	14,291	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	16,059	14,772	15,488	14,291	14,291	
職員数(人)		0.25	0.25	0.25	0.23	0.23	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.25	0.23	0.23	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	助成金対象団体	団体	目標	5	5	5	5	5
				実績	5	5	5	-	-
市内36学区体育団体、体育協会、スポーツ少年団、他2団体									
成果指標	1	助成団体活動事業数	事業	目標	375	375	375	375	380
				実績	389	386	390	-	-
対象5団体が実施する事業の合計									
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	地域の少子・高齢化が進み、地域でのスポーツイベントへの参加者減少や固定化が進んでいる中、市民ニーズや地域の実情に応じたスポーツ施策の展開が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	大津市補助金制度適正化基本方針に則った補助金の見直し及び大津市体育協会への活動助成金事業の委託事業移行など、市民ニーズに応じたスポーツ活動を推進した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	地域でのスポーツ活動の活性化を図る事により、地域の生涯スポーツ推進に寄与している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	各地域のニーズに合わせて、各学区で開催される運動会やニュースポーツを含めた活発な事業を安定して開催する事ができている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	地域住民に身近な学区体育団体や各種事業の実績を有する各団体へ補助金交付や委託をする事は効率的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	地域のニーズに合った市民が参加しやすい事業を各種団体が実施する事は、スポーツの推進への貢献度が非常に高い。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	各団体が予算規模及び地域住民等のニーズに合わせて、スポーツ活動を効率的に展開できるよう支援し、生涯スポーツの推進に努めていく。
部局長コメント	市民のスポーツ活動の活性化に向け、地域スポーツ活動の中心的役割を担う学区体育団体が継続的に地域スポーツ活動を展開できるよう、支援方法について検討していくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	103.73 %	102.93 %	104.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-0.77 %	+1.03 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	3,211 千円	2,954 千円	3,097 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	41 千円	38 千円	39 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-7.29 %	+3.77 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	64		
部局名	市民部	所属名	市民スポーツ・国スポ・障スポ
事務事業名	00849 各種全国体育大会等共催負担及び補助事業	所属長	内田 一成
		記入者	金本 正彦

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	各種全国体育大会等共催負担及び補助事業費	
	一般会計	特定	評価対象事業	全国大会開催支援事業費	
事業の概要	市内で開催される各種全国大会等に補助（負担）金を交付し、選手の競技力向上や役員の競技運営力の向上を図るとともに、市民が各種全国大会に接することで、スポーツに対する意義を体感・理解していただく機会とする。また、歴史ある各大会が大津市内で継続して開催していけるよう、競技関係者や市民、市民団体等の理解や協力のもと事業を展開しPR活動にも努めている。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	参加選手の競技力向上、スポーツを直接見る環境や、スポーツを支える人の意識、市民へのスポーツ啓発、大津市のスポーツ環境を全国に啓発するために
対象 (何又は誰を)	3月のびわ湖毎日マラソン大会、5月の朝日レガッタ、その他、市内で開催される全国大会等の事業を対象として
手段 (どのようなやり方で)	負担金や補助金を交付し
成果 (どのような状態にするのか)	市民のスポーツ意識の醸成や実施する機運を高めると共に、この大きな大会を世界選手権やオリンピックの選考大会として開催できるよう支援し、併せて大津市の知名度を高める。

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		17,278	16,297	26,448	16,750	16,750	平成29年度より全国大会開催
人件費 B		2,997	3,690	4,428	1,886	1,886	支援事業と統合
事業費合計 A+B		20,275	19,987	30,876	18,636	18,636	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	20,275	19,987	30,876	18,636	18,636	
職員数(人)		0.37	0.45	0.54	0.23	0.23	
職員数の内訳	正規	0.37	0.45	0.54	0.23	0.23	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	負担金、補助金等交付件数	件	目標	13	13	11	9	9
				実績	11	10	10	-	-
	交付している大会件数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	参加者・参加チーム数	件	目標	4,500	4,500	4,500	4,500	5,000
				実績	8,021	7,174	6,583	-	-
	交付大会への参加者・参加チーム数								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	大会の運営にあたっては、更なる安全面での対策が求められている。近年増加している車両事故対策やテロ対策など、今までの運営以上に安全管理面に配慮した対策を講じなければならない状況にある。		
これまでの見直しや改善等の経過	大会運営については、安全確保と効率性を踏まえ、自主整理員業務や警備体制等の見直しを行うとともに、前大会の反省点を共有し反映するなど、大会運営が円滑に行えるよう協議のうえ、実施している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	本市が負担金・補助金を交付することにより各種全国大会等が身近な会場で開催されることで、市民のスポーツ意識の醸成や機運を高めるとともに大津市のスポーツ環境を全国に発信することができる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	身近な会場で全国大会等を直接見ることで市民のスポーツ意識の醸成や機運の向上に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	主管する団体等への事業補助及び実行委員会形式での実施は効率的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	トップアスリートを身近で応援することで、市民のスポーツに対する機運の醸成に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	びわ湖毎日マラソンや朝日レガッタ等の全国レベルのスポーツイベントを開催することで大津市の知名度を向上させていくとともに、市民のスポーツに対する機運を高めていく。
部局長コメント	びわ湖毎日マラソンや朝日レガッタの開催は、市民が全国レベルの競技を身近に体感できる本市に根付いた伝統的な大会として、今後も関係団体と連携し、継続開催に向け注力していく。また、その他のスポーツ大会等を招致することにより、更なる生涯スポーツ・競技スポーツの推進及びシティセールスの推進を図ること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	178.24 %	159.42 %	146.28 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-10.55 %	-8.23 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,843 千円	1,998 千円	3,087 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	2 千円	2 千円	4 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+10.21 %	+68.34 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	65				
部局名	市民部	所属名	市民スポーツ・国スポ・障スポ	所属長	内田 一成
事務事業名	00851	市民体育大会等開催助成事業	記入者	金本 正彦	

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			
関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称	
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	市民体育大会等開催助成金	
事業の概要	スポーツの祭典として多数の市民参加がある「市民体育大会（学区対抗・公開一般競技）」や比良山系の雄大な自然の中で、体力と気力を培い、健康の保持・増進を図ることを目的とした登山大会「チャレンジ比良登山&志賀ウォーキング大会」を実行委員会を組織し開催している。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	市民の健康・体づくりに対する関心を高めるために
対象 (何又は誰を)	市民並びに登山、ウォーキング愛好家などを対象として
手段 (どのようなやり方で)	市民体育大会や登山大会とウォーキング大会を開催して
成果 (どのような状態にするのか)	市民の体力向上を図る。

<3. 経費> DO

	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A	4,595	4,600	3,097	1,500	1,500	
人件費 B	2,025	2,050	656	656	656	
事業費合計 A+B	6,620	6,650	3,753	2,156	2,156	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	6,620	6,650	3,753	2,156	2,156
職員数(人)	0.25	0.25	0.08	0.08	0.08	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.08	0.08	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

	指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	大津市民体育大会開催競技種目数	種目	目標	13	13	11	11	11	
			実績	15	15	11	-	-	
	大運動会（平成29年度で終了）、卓球、バレー、バドミントン他								
	チャレンジ比良登山大会コース数	コース	目標	4	4	3	0	0	
実績			3	3	3	-	-		
コース数									
成果指標	大津市民体育大会 参加者数	人	目標	7,000	7,000	5,000	5,000	5,000	
			実績	5,395	6,775	3,544	-	-	
	各競技参加者数の合計								
	チャレンジ比良登山大会 参加者数	人	目標	800	800	800	0	0	
実績			417	369	511	-	-		
各コース参加者数の合計									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリ・パラ、ワールドマスターズゲームズ2021関西、2024滋賀国スポ・障スポが開催される予定であり、市民のスポーツに対する関心・機運は高まりつつある。		
これまでの見直しや改善等の経過	実行委員会にて実施内容等を見直し、平成30年度は市民体育大会の大運動会の部の代わりに、誰もが参加しやすいウォークラリーを実施。チャレンジ比良登山&志賀ウォーキングは平成30年度で廃止となった。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市民の健康・体力づくりのきっかけ作りとして開催し、地域のスポーツ活動の推進に寄与している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	大運動会の部の廃止により全体の参加者は減少しているが、球技、公開一般参加の部は昨年度より参加者が増えている。チャレンジ比良登山&志賀ウォーキングは、過去5年で最多参加者数になった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	主管する団体等の参加する実行委員会形式で実施しており効率的である。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	全市的なスポーツイベントとして実施しており、市民の運動・スポーツをするきっかけ作りに繋がっており、貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民体育大会の大運動会の部は、当初の目的は一定果たせたとして平成29年度で廃止した。また、チャレンジ比良登山&志賀ウォーキング大会についても、同様の理由により平成30年度で廃止した。市民体育大会については、今後も実行委員会にて開催内容等を評価・検証しながら見直しを行っていく。
部局長コメント	当初の目的は一定果たせたとして市民体育大会の大運動会の部の廃止及びチャレンジ比良登山&志賀ウォーキング大会事業を終了したが、今後は市民の健康・体力づくりの向上に少しでも寄与できるような市民体育大会が開催できるよう関係団体等との検討していくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	77.07 %	96.78 %	70.88 %
	指標2	52.12 %	46.12 %	63.87 %
成果増減率	指標1	- %	+25.57 %	-47.69 %
	指標2	- %	-11.51 %	+38.48 %
活動単位コスト	指標1	441 千円	443 千円	341 千円
	指標2	2,206 千円	2,216 千円	1,251 千円
成果単位コスト	指標1	1 千円	0 千円	1 千円
	指標2	15 千円	18 千円	7 千円
コスト増減率		- %	-3.24 %	-25.68 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	66		
部 局 名	市民部	所 属 名	市民スポーツ・国スポ・障スポ
事務事業名	00852 各種全国大会等出場激励事業	所 属 長	内田 一成
		記 入 者	金本 正彦

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	各種体育・スポーツ大会 激励金交付要綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する 個別計画	大津市スポーツ推進計画
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	各種全国大会等出場激励金	

事業の概要	各種体育・スポーツ大会に出場する選手に対し激励金を交付し、もって本市の体育・スポーツの推進を図ることを目的とする。
-------	---

運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	競技力の向上と競技スポーツの推進を図るために
対象 (何又は誰を)	国際・全国大会に出場する選手を対象として
手段 (どのようなやり方で)	激励金を交付することにより
成果 (どのような状態にするのか)	ハイレベルの競技大会に出場すること等による、スポーツの活性化を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,010	2,268	1,923	1,938	1,938	
人件費 B		2,997	2,050	2,050	1,886	1,886	
事業費合計 A+B		5,007	4,318	3,973	3,824	3,824	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	678	1,923	1,938	1,938	
	一般財源	5,007	3,640	2,050	1,886	1,886	
職員数(人)		0.37	0.25	0.25	0.23	0.23	
職員数 の内訳	正規	0.37	0.25	0.25	0.23	0.23	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	激励金交付件数	件	目標	80	80	80	80	90
		実績		97	112	107	-	-	
		激励金を交付した大会の件数							
成果指標	1	入賞大会件数	件	目標	5	5	5	5	5
				実績	11	12	6	-	-
		出場した大会で3位以上の成績を収めた大会							
	2		目標						
実績									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	滋賀県においては、競技力向上基本計画に基づき、滋賀国スポ・障スポ開催に向けて、次世代アスリート発掘育成プロジェクトの「滋賀レイキッズ」や学校や地域団体と連携した強化拠点構築により選手強化している。		
これまでの見直しや改善等の経過	激励金の交付金額については、大津市補助制度適正化基本方針に基づき、平成25年度に見直しを行った。広報おつへの掲載、ツイッター等SNSを活用した当該事業の周知PR活動を実施。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	競技スポーツの普及・促進を図るため、本市の代表として、国際大会や全国大会に出場する選手に対して、本市が激励金を交付する事は妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	全国大会や世界大会出場者を市ホームページ等で広く市民に周知することにより、市民へのスポーツの関心を高める。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	競技者のモチベーションを高め、競技スポーツの活性化を図る上で励みとなる事業である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	国際・全国大会へ出場する選手へ激励金を交付する事は、選手のモチベーション向上に寄与するとともに、出場選手を広く市民に周知することで、本市のスポーツの活性化に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>2020年開催の東京オリ・パラ、2024年開催の滋賀国スポ・障スポの開催を見据えた選手強化支援施策の一つとして、継続的な支援が必要である。市民の利便性の向上及び激励金の基準見直しや事務簡素化に向け、平成31年4月1日付けで要綱を改定した。今後も激励金制度の市民周知に努めていく。</p> <p>激励金を交付し出場選手を激励することで、選手の競技力の向上や市民へのスポーツへの関心を高められ、本市のスポーツ振興に大きく寄与している事業である。今後も引き続き大会出場選手を市ホームページ等で広く周知し交付事業を継続していくこと。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	220.00 %	240.00 %	120.00 %
成果増減率	- %	- %	- %
活動単位コスト	51 千円	38 千円	37 千円
成果単位コスト	455 千円	359 千円	662 千円
コスト増減率	- %	-20.94 %	+84.02 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	67				
部局名	市民部	所属名	市民スポーツ・国スポ・障スポ	所属長	内田 一成
事務事業名	00839 学校体育施設開放事業		記入者	杉本 光洋	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	スポーツ基本法、昭和51年文部事務次官通知
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	99	その他		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	学校体育施設開放事業費	

事業の概要
 近年、生活水準の向上や自由時間の増大により、スポーツ活動に対する市民の欲求が高まっており、この要請に添えるため、市立小学校36校の体育館と運動場、また、市立中学校10校の体育館を学校教育に支障のない範囲で開放している。学校開放の運営にあたっては、各学校に「学校体育施設開放運営委員会」を設置し管理運営を委託している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（地域の団体への委託）

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民が日常生活において身近にスポーツ活動を行えるために
対象 (何又は誰を)	地域住民に
手段 (どのようなやり方で)	各小中学校体育施設開放運営委員会に運営を委託して、学校体育施設を教育に支障のない範囲において開放することにより
成果 (どのような状態にするのか)	地域住民が日常的にスポーツを行い、ひいては運動・スポーツ実施率向上に寄与する。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		13,149	12,688	11,662	10,202	10,202	
人件費 B		6,432	5,853	5,113	5,484	5,484	
事業費合計 A+B		19,581	18,541	16,775	15,686	15,686	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	6,480	7,046	5,679	5,442	5,442	照明料収入
	一般財源	13,101	11,495	11,096	10,244	10,244	
職員数(人)		1.37	1.29	0.70	0.92	0.92	
職員数の内訳	正規	0.62	0.54	0.60	0.52	0.52	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.40	0.40	
	臨時	0.75	0.75	0.10	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	小学校開放校数	校	目標	36	36	36	36	36	
				実績	36	36	36	-	-	
	市内36小学校(葛川小を除く)を開放している。									
	2	中学校開放校数	校	目標	10	10	10	10	10	
実績				10	10	10	-	-		
市内18校の内10校を開放している。										
成果指標	1	小学校開放利用人数(運動場、体育館)	人	目標	774,000	774,000	774,000	774,000	774,000	
				実績	684,390	633,861	640,473	-	-	
	小学校開放の利用人数(運動場、体育館)									
	2	中学校開放利用人数(体育館)	人	目標	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	
実績				35,912	35,960	38,783	-	-		
中学校開放の利用人数(体育館)										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	地域の身近な体育施設として幅広い年代の市民から利用されている。スポ少等の地域団体だけではなくクラブチーム等への参加者も増え、利用者と地域との連帯意識が薄れている。		
これまでの見直しや改善等の経過	H29運営マニュアルの見直し。H30年運営委員会への委託料算定方法の見直し。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	昭和51年の文部事務次官通知により、市が学校体育施設を地域住民のスポーツ活動に供する事業であり、妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	利用頻度は高く、地域住民が日常的にスポーツに取り組めており、運動・スポーツ実施率向上に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	地域団体に運営を委託し、地域の実情に合わせた効率的な運営がされている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民の運動・スポーツ実施率の向上に寄与しており、スポーツの普及・振興に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	年度により、利用人数に変動があるものの多くの市民の利用があり、スポーツの普及・振興の施策目的を果たせており、継続して運営していく。
部局長コメント	学校体育施設については、地域住民の身近なスポーツの場として開放しており、住民の健康づくりに寄与している。事業運営を各学区の運営委員会に委託しているが、事務処理の更なる適正化及び効率化を図ること。また、運営委員会とともに現行の事務処理方法を評価・検証し、持続可能な事業の運営方式を検討していくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	88.42 %	81.89 %	82.74 %
	指標2	85.50 %	85.61 %	92.34 %
成果増減率	指標1	- %	-7.38 %	+1.04 %
	指標2	- %	+0.13 %	+7.85 %
活動単位コスト	指標1	543 千円	515 千円	465 千円
	指標2	1,958 千円	1,854 千円	1,677 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
コスト増減率		- %	-1.59 %	-13.28 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	68				
部局名	市民部	所属名	市民スポーツ・国スポ・障スポ	所属長	内田 一成
事務事業名	00840	社会体育施設管理運営事業	記入者	杉本 光洋	

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	社会体育施設管理運営費	

事業の概要
市民のスポーツ、レクリエーションの普及振興、またそのための場を提供し、健康の保持増進を図るため、市民プール・市民運動広場・市民体育館・格技場・乗馬場・キャンプ場・ランニングコース・オリエンテーリングコースを設置している。平成18年度より市民プール・大谷乗馬場については指定管理者制度を導入している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（地元団体への委託）

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	市民のスポーツ、レクリエーションの普及振興、またそのための場を提供し、健康の保持増進を図るため
対象 (何又は誰を)	市民に
手段 (どのようなやり方で)	指定管理施設については選定した指定管理者に、市民運動広場については、運営委員会を設置し業務委託をして
成果 (どのような状態にするのか)	市民が日常的にスポーツを行うことで運動・スポーツ実施率の向上を図り、健康を保持する。

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		76,440	71,608	333,422	160,862	160,862	
人件費 B		7,614	6,068	6,068	10,906	10,906	
事業費合計 A+B		84,054	77,676	339,490	171,768	171,768	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	6,254	6,306	29,131	31,166	31,166	体育施設等使用料
	一般財源	77,800	71,370	310,359	140,602	140,602	
職員数(人)		0.94	0.74	0.74	1.33	1.33	
職員数の内訳	正規	0.94	0.74	0.74	1.33	1.33	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	市民運動広場等の数	施設	目標	35	35	35	35	35
				実績	36	36	36	-	-
	運動広場等、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の施設の数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	市民運動広場等の利用人数	人	目標	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000
				実績	347,900	341,116	320,383	-	-
	運動広場等、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の利用者数								
	2			目標					
			実績						

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	69		所属名	市民スポーツ・国スポ・障スポ	所属長	内田 一成
部局名	市民部		事務事業名	00842 比良げんき村管理事業	記入者	杉本 光洋

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	天津市立野外活動施設条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	天津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	比良げんき村管理事業費	

事業の概要
比良げんき村における野外活動を通じて、市民のスポーツ、レクリエーションの振興を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 (指定管理(H20~))

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	豊かな自然を活かした野外活動施設のなかで、青少年の健全な育成と、市民のスポーツ、レクリエーションの振興を図るため
対象 (何又は誰を)	市民や市外からの利用者に対して
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者の民間のノウハウを活かして自然体験、環境学習の場の提供をすることにより
成果 (どのような状態にするのか)	豊かな自然を満喫し、リピーターを増やすことで、青少年の健全な育成と、市民のスポーツ、レクリエーションの振興を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		16,592	18,806	17,896	17,923	17,677	
人件費 B		2,268	984	1,230	1,640	1,640	
事業費合計 A+B		18,860	19,790	19,126	19,563	19,317	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	18,860	19,790	19,126	19,563	19,317	
職員数(人)		0.28	0.12	0.15	0.20	0.20	
職員数の内訳	正規	0.28	0.12	0.15	0.20	0.20	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	げんき村の利用日数	日	目標	100	100	100	100	100
				実績	105	115	138	-	-
平成30年度まではキャンプ場利用があった日数。									
活動指標	2	天体観測施設の開場日数	日	目標	100	100	100	100	100
				実績	69	62	87	-	-
プラネタリウム、天体望遠鏡の利用があった日数。									
成果指標	1	げんき村利用日数(キャンプ場)	人	目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
				実績	4,835	6,925	5,971	-	-
指定管理者からの報告による。									
成果指標	2	天体観測施設の利用者数	人	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
				実績	816	782	803	-	-
指定管理者からの報告による。									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民が手軽かつ安価に自然を楽しめるキャンプ場として人気が高い。施設や遊具の安全性を求める意識が高まっている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成18年度指定管理者制度導入。平成25年度に宿泊棟と人工登はん壁が県より移管。平成27年度にプラネタリウム更新。平成29年度に浄水設備を改修し、水の安全性を高めた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	野外活動施設を活用し、青少年の健全な育成と市民のスポーツ、レクリエーションの振興を図る事業であり妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	年々キャンプ場の利用は伸びており（平成30年度は土砂災害の影響で8ヶ月間キャンプ場の一部を閉鎖した影響で若干減少）市民のスポーツ・レクリエーションの振興につながっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者により、民間のノウハウを活用した管理運営、維持管理が出来ている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	キャンプ場の他、様々な施設を運営することで、市民のスポーツ、レクリエーションの振興に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ()
部局長コメント	野外活動を通じて、市民のスポーツ、レクリエーションの振興を図るため、指定管理者との連携を強化のうえ、施設を活用した自主事業の充実と積極的なPR活動を行うこと。また、今後、更なる施設の活性化と運営コスト削減を図るため、民間資本の導入、移譲について検討していくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	87.90 %	125.90 %	108.56 %
	指標2	54.40 %	52.13 %	53.53 %
成果増減率	指標1	- %	+43.22 %	-13.77 %
	指標2	- %	-4.16 %	+2.68 %
活動単位コスト	指標1	179 千円	172 千円	138 千円
	指標2	273 千円	319 千円	219 千円
成果単位コスト	指標1	3 千円	2 千円	3 千円
	指標2	23 千円	25 千円	23 千円
コスト増減率		- %	-23.10 %	+10.28 %